

三ツ矢 憲生

衆議院議員



伝統と格式を誇る「パールレース」が、第52回目の開催を迎えられたことを衷心よりお慶び申し上げます。また、長期にわたり大会の開催に尽力してこられた関係各位の努力にたいして深甚なる謝意および敬意を表します。

日本最大規模の外洋レースとして有名なパールレースの熱戦の火蓋が、今年もまたわがふるさと伊勢志摩の五ヶ所湾から切られることは、まことに光栄であります。

刻一刻と変化する天候や潮流の変化に迅速に対応し、操船するには、高度な技術と強靱な体力と精神力が要求されます。選手の皆様には、日頃から培ってきた実力を遺憾なく発揮され、無事フィニッシュラインを横切ってもらいたいと思います。

また、当レースが、三重県と神奈川県の友好の架け橋となるとともに、地域の活性化を促す起爆剤となるように、期待しています。

最後に、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

江崎 洋一郎

前衆議院議員



50年以上の歴史と格式を誇る「パールレース」が、今年も第52回目を迎えられる由、まずもってお慶び申し上げます。しかも、レースは7月29日の正午スタートで表彰式は7月31日の日曜日という、海を愛する全ての人々にとっての真夏の海を十分に楽しめるこの時期に行われることは、大変素晴らしいことだと思います。

愛する地元・江の島沖で、多くの参加艇をお迎えできることは、大変光栄です。今年は東北関東大震災の復興支援で超多忙の海上自衛隊のご支援を遠慮されたとうかがいました。被災地の皆さんの一日も早い復興を願い、再びパールレースの支援をお願いできる日が来ることを心より祈念いたします。今年、江の島ヨットクラブの所有艇がフィニッシュを担当されるとのこと、今年も素晴らしいレースが展開されることを希望いたします。

参加者・関係者皆々様の安全とご活躍を心より祈りながら、江の島でお会できる日を心待ちにしております。

黒岩 祐治

神奈川県知事



「第52回パールレース」が、今年も盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

美しい海岸線に恵まれた神奈川の海では、四季を通じてマリンスポーツを楽しむ人々でにぎわっており、また、日本の近代ヨット発祥の地という由縁から、ヨットレースが盛んに行われています。

中でも、雄大な大海原を舞台とする外洋ヨットレースは、高度なセーリング技術はもちろんのこと、強靱な体力と精神力、そして息の合ったチームワークが求められるレースです。三重県の五ヶ所湾から江の島沖のゴールまで180海里を航海する本大会は、県民をはじめ多くの方々にヨットレースの醍醐味を知っていただく格好の機会であり、本県のマリンスポーツの普及・振興にとって大変有意義なものと存じます。

クルーの皆様、夏の日差しと潮風を帆いっぱいを受けながら、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、素晴らしいレースを展開してください。そして、多くの仲間たちとの交流を深め、思い出に残る有意義な大会にしていきたいと思えます。

最後に、大会の開催にご尽力いただきました関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、大会のご成功並びに選手の皆様のご健闘と航海の安全をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

小山 巧

南伊勢町長



「第52回パールレース」が盛大に開催されるにあたりまして、本レースのスタート地点にあります南伊勢町の町民を代表して心からお喜び申し上げます。

南伊勢町は、古来より海とは深い関わりがあり、熊野灘の恩恵を受けて栄えてまいりました。伊勢志摩国立公園のリアス式海岸特有の入り組んだ湾は、紺碧の海と山の緑で彩られた大変風光明媚なところでもあります。豊かな自然景観と新鮮な魚介類などの美味しい食、平家落人伝説に代表される歴史・文化など多様で深く味わうことができるスポットがたくさんあります。皆様方におかれましては、ヨットレースとあわせて、南伊勢の魅力をお楽しみいただければ幸いです。

今年も五ヶ所湾口をスタートの舞台にレースが開催されますことは大変光栄であります。選手の皆様におかれましては、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され、素晴らしいレースを展開されることを期待しております。

最後になりましたが、本大会にご尽力いただきました関係者の皆様へ敬意を表し、参加各艇クルーの方々には、ご健闘と航海の安全をお祈りし、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

海老根 靖典

藤沢市長



真夏の青さがまぶしい季節に、「第52回パールレース」が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。レースに参加される選手の皆さま、並びにレース関係者の皆さまを、41万藤沢市民を代表いたしまして心から歓迎いたします。

藤沢市のシンボルである「青い海に浮かぶ緑の江の島」と湘南海岸は、江戸時代の浮世絵にも描かれるなど、風光明媚な景勝地として国の内外から人気を集めています。夏のトップシーズンには400万人を越える海水浴の皆さんが、年間では1,500万人を超える観光の皆さんが訪れる、日本を代表する癒しの場です。

この大海原をフィニッシュ港として繰り広げられる、五ヶ所湾から、神ノ島、利島を經由する180海里に及ぶ大レースは、湘南の夏の風物詩としてすっかり定着しています。

「東日本大震災」から4ヶ月余りが過ぎました。甚大な被害がもたらされ、大自然の恐ろしさを改めて認識させられました。今、私たちに出来ることは、この湘南から被災地にエールを送るとともに海の素晴らしさを世界に向けて発信することだと考えております。

本大会の運営にご尽力された関係者の皆さまに敬意を表しますとともに、各艇の航海の安全と、選手の皆さまのご健闘を心からお祈りいたします。

河野 博文

財団法人 日本セーリング連盟 会長



第52回パールレースが開催されますことを心からお喜び申し上げます。

伝統ある本レースは、外洋セーラーにとって未だ憧れの外洋レースとして存在感があります。

近年、オーバーナイトの外洋レースが極端に減っていることを残念に思っておりましたが、唯一「パールレース」が外洋レースの歴史を重ねていることに敬意と誇りを感じております。また、昨年には「沖縄東海ヨットレース」が開催され、今後の本格的な外洋レースの復活に大いに期待しております。そして、外洋レースの支柱としてますます発展することを期待しています。

三重県五ヶ所湾をスタートし、利島を廻って、神奈川県江の島にフィニッシュする180マイルのコースを、皆さんの無事と健闘そして安全に帆走りきることを祈念いたします。早々に梅雨明けした今年のパールレースは、南西の安定した風が吹くことが予想されますが、全艇無事にフィニッシュすること願っております。

最後に、外洋東海ならびに外洋湘南の実行委員会の皆様、また毎年ご協力いただいているヴィーヴルオーシャンクラブならびに江ノ島ヨットクラブに感謝申し上げます。ご挨拶といたします。